

平成 23 年度 第 4 回江田島市公共交通協議会 (H24.2.29)

協 議 会 議 事 録				
会議名	平成 23 年度 第 4 回江田島市公共交通協議会			
日 時	平成 24 年 2 月 29 日 (水) 14 : 00 ~ 15 : 50			
場 所	江田島市農村環境改善センター 多目的ホール			
出席者	県立広島大学	名誉教授	の ほんら けんいち 野原 建一	○
	広島商船高等専門学校	教 授	おかやま まさと 岡山 正人	×
	江田島バス株式会社	代表取締役社長	はすだ つとむ 蓮田 勉	○
	江田島バス株式会社	従業員代表	しらいし ひろし 白石 公士	○
	広島県旅客船協会	会 長	に った いちろう 仁田 一郎	○
	瀬戸内シーライン株式会社	船員代表	たにぐち みのる 谷口 実	○
	広島県タクシー協会 江能支部	支部長	いまみや こうじ 今宮 浩二	○
	江田島市自治会連合会	会 長	お が た けんそう 小方 憲三	○
	江田島市老人クラブ 連合会	会 長	いの こ よしお 猪子 嘉生	○
	江田島市社会福祉協 議会	会 長	おおつ かつひこ 大津 克彦	○
	江田島市女性会連合 会	会 長	おかだ れい こ 岡田 鈴子	○
	江田島市観光協会	会 長	なかしま まさる 中島 勝	○
	中国運輸局海事振興 部旅客課	課 長	おおしま はるゆき 大島 治之	○
	中国運輸局広島運輸 支局	首席運輸企画専 門官	やざわ しょうじ 八澤 昭二	代理出席 おおぼやし まさあき 大林 正明
	広島県地域政策局 過疎・地域振興課	課 長	ますだ しげのぶ 増田 茂伸	代理出席 だ て あきふみ 伊達 晃史
	江田島警察署	地域交通課長	しげむね ひろあき 重宗 博明	代理出席 やまおか ますみ 山岡 益三
	市議会産業建設常任 委員会	委員長	やまき のぶかつ 山木 信勝	○
	市議会交通問題調査 特別委員会	委員長	と ち やすのり 登地 靖徳	○
	江田島市	副市長	しょうい よしあき 正井 嘉明	×
	江田島市	総務部長	ど て さんせい 土手 三生	○
江田島市	土木建築部長	いしい かずお 石井 和夫	○	

1 開 会	
事 務 局	開会宣言
2 会長あいさつ	
副 会 長	あいさつ
3 議長の選任について	
事 務 局	野原委員を議長に選任
4 協 議	
(1) 海上交通に関すること	
事 務 局	－資料 1-1 により説明－
議 長	まずは三高～宇品航路の存続，これは大丈夫であるという事務局からの説明であったが，これについて何か質問はないか。
委 員	<p>仁田会長にもう少し説明をお願いしたい。新しい会社を立ち上げるということだが，1 ヶ月しか時間が無いので，その説明をひとつお願いしたい。</p> <p>それからもう一点，江田島市が所有している「ドリームのうみ」を借りたいということだが，もらうのと借りるのとどちらが良いのか。江田島市においても今では不要不急のフェリーになっており，その辺りもこれから市とも検討するのではないかと思うので，その両方の選択肢が残っているのではないか。</p>
委 員	<p>それはちょっと早すぎる。三高航路がどうなるかも今日初めて聞いたのに。議会には説明があり市の方針が決まっているのなら，この公共交通協議会で協議する必要はないと思う。市はもう少し丁寧に説明して欲しい。この文章を読んだだけでは分からない。</p> <p>当協議会が始まって以来，西能美航路の再編でいろいろと皆さんと協議して，フェリーは三高に集約するというので，その時から江田島市の利用者が減ることが想定されていた。それを敢えて芸備商船が引き受けてくれた。そうした中で簡単に次はこうだと言われて，その次に西能美航路が廃止になれば誰が責任を取るのか。</p> <p>もう少し先走った話にならずに，じっくりと事務局も説明して欲しい。議会に対して説明をどの程度しているのか。</p>
事 務 局	説明が足らなかったところがあり申し訳ない。議会に説明した資料が，お手元に配付した資料 1-1 である。ここで「市の方針」と書いてあるとおり，空白期間を作らないことを市は優先したいので，その新会社に貸与する方向で検討するとしている。内容や条件については現在調整している段階である。最終的に空白期間を作らないように，時間的にタイトではあるが，まだ詳細が決まっていない段階である。

	<p>その後書いてある「公設民営」等については、この協議会を中心に議論をスタートさせてもらいたいと考えている。これはまだまだ時間がかかると思っている。その辺についてはこのあと説明しようと思っているが、全市的な航路も含めて、この場もしくは住民との話し合いの場において、そういったところを踏まえて進めていきたいという方針を、更に今日の議題に入れさせてもらっている。</p> <p>また、これまでの西能美航路の再編についての検証について、これまでの協議会でも何度か言われたのだが、まだ分析が十分ではないものの、今日は資料を用意している。これもまた見ていただければと思う。</p>
議長	<p>事務局の方で十分な説明がなかったということで、補足説明をもらった。最初に委員からこの辺の経緯についてどうなのかということと言われたが、これも大変住民にとっては関心のあることなので、その辺の説明も是非お願いしたい。</p>
委員	<p>そういうことはよく分かるのだが、この協議会が先走って、協議会が決めたから議会もそうなった、そして結局地域住民にもこれでこうなったという、この公共交通協議会が表に出すぎて、早く言えば、黒子にされたというのはもっての外だと思う。それはこの今の船の問題にしても陸上の問題にしても、島嶼部は全国的に人口減になっている中で、市が焦りすぎているのではないか。今日は責任者もいない中で、この協議会でこう決まって、議会にこうですよと説明するのはもっての外。もう少し熟慮した話し合いをしようではないか。</p> <p>それと、仁田会長へ聞くのは、今は時期尚早だと思う。</p>
議長	<p>委員から仁田会長へ問い合わせがあったのだが、それはちょっと早いのではないかという意見であった。</p> <p>地域住民の代表の方、何か意見はないか。</p>
委員	<p>そもそも、三高航路へフェリーを集約するということが芸備商船がやられた。芸備商船は本気でこの航路をもり立てるような、地元の利便性をしっかり考えて、どんどん乗せてあげるような努力をされたとは思いますが、それが足りなかったのではないかという、実際に利用されている住民の方々の声を以前聞いている。と同時に、いきなり困難になりましたからとこういうことをやられては、我々としては大変困る。</p> <p>それが次に続いて民営化しましょうとなると、民営化したはいいのだが、原油が高くなり、そして乗客数も人口も減ってきて、それではやっていけないから運賃を上げましょう、それでも駄目ならやめましょう、と言うのであれば、何十年と我々の先祖たちがこの航路を作ってきて、一生懸命やったおかげで、随分前にも申し上げたような、能美町交通局を能美町の時代からやって、これがやはり住民の福祉は</p>

	<p>もちろんのこと、地域の発展のためにはどうしても必要な航路であるということで、市からの援助をしながらやってきたのだが、時代が変わったとはいえ、つい最近まで十分これでやってきたし、その間に次から次へと新船を建造し、そしてこの航路を今も随分の方が通勤通学で利用しているが、これは我々の命の航路である。それをいとも簡単に、ここができないからこうしようと。この辺はもう少し熟慮して、住民の意見をもっともっと吸い上げてどうしたらいいのか。</p> <p>市の方も「駄目なら民営化」という安易な考えでは駄目だと思う。どうしたらこの航路がもう少し利用頻度が上がって、同時にこの地域のためにもこの航路をどのように発展させるかという、もうちょっと本気で取り組む姿勢が、執行者である市の方に足りないのではないかという気持ちもちょっとある。</p>
<p>委 員</p>	<p>今の話聞いて、市（行政）の方も大変だろうと思う。というのが、昨年末だったか、芸備商船が大須港への寄港が無理で 3 月までという話があって、それから 1 年も経っていないのに今度はこういう話になった。では市としてはどうしようかということで対応しなければならぬ状況が出てくるわけだが、寄港しないという話から芸備商船の撤退の話までが、えらく急な気がする。</p> <p>大須に寄港できないという段階で、既に撤退を我々が想像しなければならなかったのか。そういうパターンで今度の新会社にやってもらって、またこのパターンになって、協議だけはあなた方がしなさいとなるのも大変な気がする。ある意味、逆に経営の方まで介入しなければならなくなるのかという感じになってくるが、それもいろんな無理がある。要はそういった、何かいつも繰り返すような気がする。そこらをどうするのか。</p> <p>絶対に生活航路を無くするというわけにはいかないし、企業局はフェリーをやっていた分経営が大変だということで高速船のみになったのだが、まだフェリーでやるのかどうか。高速船の方が合理的であるのなら高速船の方を考えて、第 2 音戸大橋ができれば申し訳ないが向こうを通ってくれ、その代わり高速船の方で頑張りますという、何かそういう方向のような。</p> <p>私が言いたかったのは、大須へ着くことができませんという話から今日までの間の急な話がどんどんあり、納得できないような気がするので、理由というものがもうちょっと説明されて、それなら別のことをみんなで考えようということでないかと、ちょっと今この書類を見ただけではなかなか理解しにくいという点がある。</p>
<p>議 長</p>	<p>地域住民としては、市の説明では十分でないということで、非常に早急に物事が進んでいくことに危惧の面があるということである。</p>

委 員	<p>先ほど委員が言われたように、三高航路のフェリーを残すために、中町からのフェリー便 6 便、これは生活航路であったが、これを三高航路に特化した。能美町にとっては苦渋の選択であった。住民からもいろんな批判を、私共も受けた。三高航路を存続させるために我々も苦渋の選択をしたわけだが、それが今日提案されたような結果になり、新しい会社を作ってそれを存続してもらおうということについては、三高の住民の皆さんにとっても、それはどうしても必要なことであって、ありがたいことであると思っている。</p> <p>最後に将来的な再々編、これが「公設民営化」という表現になっており、これを公共交通協議会で協議していくということが付け加えられているが、これについては公設民営化にはいろんなパターンがあると思うし、ただ単に経営が苦しいから公設民営化にしましょうというような安易な考えでこれを進めるとするならば、江田島から呉、あるいは江田島から宇品へ、というフェリーボートの経営にも、やはり波及してくるのではないかという気がする。どちらも経営は苦しいはずだから、公設民営化という形で考えていただきたいということが業者の方で出てくるのではないかと思う。これを西能美だけで考えるとすれば、どういったパターンで公設民営化をするのか、指定管理者制度のような形にするのかというような問題もある。</p> <p>いずれにしても、ただここで言えるのは、3 月に芸備商船が三高航路を切って、それから間を置かず三高から宇品への航路を存続する形はとってもらいたいということは、住民の方からしても強く要望しておきたい。</p>
議 長	<p>ここで言う三高～宇品航路については、それを守るべきという意見ではあるようだが、これを利用される側から言うと非常に動きが急ではないかということだが、特に利用される女性の側からいかがか。</p>
委 員	<p>この三高への集約の際に、市のフェリーが無くなると、燃料が高くなったりしたときに、民間会社が駄目と言われたらその時はどうするのかという意見がたくさん出ていた。「ああ、やっぱり来たか」と思った。それを踏まえてズラズラと書いてあるが、空々しい。「ほら見たことか」ということになっているから、いろいろ上手な文が書いてあるが、私たちがそれを裏切られたことに対しては、後の文章がどこまで信用できますかと、そういう感じがする。</p> <p>これを今更言っても元には戻らないが、それを踏まえてこれからの議論を前に進めていかなければと思っている。</p>
議 長	<p>三高～宇品航路については、芸備商船が手を引くということで、その後の動きについて、果たして事実通りにやってもらえるのかという不信感が募っているということである。</p>

<p>委 員</p>	<p>いろいろな方の意見をお聞きした。それを繋げて私は全体を考えたいと思う。</p> <p>我々高齢者の立場というのは 60 歳から 100 歳まで。現実には高齢者は利用度が非常に少ないのではないかと。そして後の方には第 2 音戸大橋の開通なども控えている。</p> <p>市もいろいろと苦勞されている。しかし能美町営船の頃から特別な思いがある。先ほど委員が言われたように、話も少し急過ぎるような気がする。</p>
<p>議 長</p>	<p>それについて、地元の声を聞かせてもらったが、事務局から補足することはあるか。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>「話が急過ぎる」ということに関してだが、海上分科会を開いた時に、芸備商船から報告をしてもらった。一番はこの協議会でも話が出ていた「大須寄港を止めた時にそういう状況が予測できたのではないかと」という話であるが、大須寄港を止める目的として「三高航路を守りたい」とはっきりと言われた経緯がある。それにもかかわらず……というところで、1月の時点で話があったところである。</p> <p>今後のことについては、続いての資料で、これまでの経緯等も含めて説明させてもらいたい。</p>
<p>議 長</p>	<p>それでよろしいか。今後の海上交通の協議方針と関わるということなので、そちらの方の説明もしてもらおうと思う。</p>
<p>委 員</p>	<p>市の方針をはっきりと定めてもらわないといけないと思う。これだけは言っておく。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>－資料 1-2, 1-3, 1-4 により説明－</p>
<p>議 長</p>	<p>今後の海上交通の協議方針、その協議の進め方ということで、市から説明をしてもらった。これを踏まえ更に協議を進めてもらいたい。</p>
<p>委 員</p>	<p>今後の話の前に、これまでの経緯の説明と同時に、住民の皆さんをはじめ、先ほどの経緯の中で「なぜいきなり……」という感想を持っている方が多いと思うが、それはこの社会実験の結果のまとめがされていないから。中間である程度の実績は示されていたが、今日初めて全体像が出てきた。</p> <p>今回の社会実験で市が高速船をやるということで、民間会社のフェリーも収入が増え、市も経費が減って収支が改善するであろうという目論見を立てた。ところがそれが両方共全くうまくいっていなかったという状態が続いていた。それをまずまとめをしなければいけない。</p> <p>先ほどの表の中で 21 年と 23 年を比べているが、この間に目論見が入っていなければいけない。当初この実験をやったらこういう収支、いわゆる運送実績や収入も、民間会社の方はこうなって、市もこうなって、これならやっていけるのではないかとという予測を立てて実験を</p>

	<p>始めた。ところが実際はこうでしたというところを、まず分析しなければいけない。そこが抜けているから、ある日突然に……というような印象を持たれる方が多いと思うが、そこから始めるべきだと思う。</p> <p>逆に今そういう状態なのだということから、じゃあこれからどうするのかということ、この協議会でも市でも考えるし……というふうにしていかなければいけないという段階だと思う。是非今回の社会実験のまとめと、その結果に基づく反省と、今後どうするかということから是非始めてもらいたい。</p>
<p>議 長</p>	<p>社会実験の取りまとめがまだ十分ではないのではないかと指摘である。これについて何か意見はないか。</p>
<p>委 員</p>	<p>今、事務局から説明があり、協議の方針ということで一応「案」ということなのだが、「協議の方針」なので、協議することのいわゆる方向づけの話だと思う。</p> <p>資料 1-2 に 5 つある中に、例えば 1 番で「～を注視する」、2 番は「意識づくりに取り組む」、3 番は「話し合いを実施する」、4 番は「検討する」、5 番は「話し合いを実施する」といったように、目論見というか目標値といったものが、言葉で表現されているので、たぶんまとめたらこうなったという話になってしまう傾向にある。</p> <p>これはまあ難しいのだが、では市が主導権を持ってやろうと思っても、経営は民間がやっている部分があって、目標値を逆にある程度今までのデータを基にして、人口の減少などいろんな結果を踏まえ、もうこういう結果になったら運賃が幾らでないと駄目だとか、船便が減りますよというのを、先に皆さんに見せて、理解は難しいのだろうが、今の厚生年金と似たところがあるので、示していく格好にしないと、結果またこうなって利用者が少なくなって、赤字になってやっていけなくなったという話ばかりになる気がする。</p> <p>目標値の立て方をそういう方向に。この協議会がそれを検討する場ではあるのだが。</p>
<p>委 員</p>	<p>今いろいろ話を聞いて、私は思うのだが、民間がやって赤字を出して、芸備商船は撤退した。民間がやって赤字を出して撤退したら、瀬戸内海汽船がやって、また赤字であればどうするのか。</p> <p>みんな、今後人口が減っていくと言うばかりではなくて、もっと前向きに、この島に人が帰ってくるという発想ができるのではないか。</p> <p>生活航路で船の料金が安くなると、広島市内に住むよりこっちから通う。栈橋には無料駐車場があるし。そういうことを考えて、市が離れて民間主導でやろうかという話だが、私は市がやってもいいのではないかと思う。市が税金でやれば良いのだから。その中で、市がやってなぜできないのか、人件費がなぜ高いのか、そういう事を考えながらやっていく方が前向きだと思う。</p>

	<p>第 2 音戸大橋ができて、私はそんなに変わらないと思う。車で行く人は車で行くが、通勤・通学・通院される方は、必ず船を利用する。利便性が悪いから良い所へ行こうというのが現実。だから人口が減少してどうしようかというのではなく、どうやったらこっちへ帰ってくるか、U ターンして通勤してくれるかというのを前向きに考えるべきだと思う。民間がやって赤字であるものは、誰がやっても赤字である。</p>
議長	<p>もう少し積極的に、前向きに考えたやり方が良いのではないかと指摘だろうと思う。先ほど委員から、もう少し魅力のある点を、この航路でもそうなのだが、訴えていくべきではなかろうかと、その辺が少し市の方針の中では欠けているのではなかろうかという指摘であったが、事務局の方でその点はいかがか。</p>
事務局	<p>人口減少等に関しては、江田島市が抱える非常に大きな問題である認識は持っている。そこでいろんな取組みをしている。総合計画を作り、それに基づいたいろんな施策を市役所はやっているところであるが、なかなか特効薬がない状況で、現実的には県内でも人口減少率が下から何番目かという悪い状況である。</p> <p>航路に関する前向きな話でいうと、できればこういう協議会の場でアイデアが出れば理想だとは思っているが、現実には減便であるとか航路の廃止であるとか、そういう議論に終始しているという点が、市としては反省点である。</p>
議長	<p>ということで、後ろ向きではなくて前向きな意見を出してもらおうということ、それからもう 1 つは、これは委員から出た言葉であるが、文章で出すよりももう少し数的なもので、見通しなものは目標みたいなものが出てくれば分かってくるのではないかと指摘もあった。それを含めて皆さんから意見は出ないか。</p> <p>そういったアイデアが出てくると非常にありがたい。「公設民営」というのは、言うは易しいのだが、これは実は非常に厳しい状況であり、簡単に民営ということができるといったものではない。非常に難しく、できるところとできないところがあると思う。</p>
委員	<p>私は委員に大賛成。我々はここに生まれてここに住んで、最近孫も船に乗って広島の高校に通っている。この船は、特に我々にとっては命の次に大事な航路であることは最初に申し上げたとおり。前向きに考えることは大賛成である。</p> <p>私は観光協会の代表で来ているが、観光協会としても江田島 6 峰登山など、いろいろな仕掛けをしている。クマン岳・古鷹山・真道山・陀峯山・宇根山・砲台山と、6 つの山を制覇してもらい、バッチを提供したり特産品をプレゼントしたりしている。そういった形でどんどんこの江田島に来てもらうよう、次いでこの島に住んでいただくとい</p>

	<p>う、全体の島の魅力をしっかり我々もブラッシュアップして発信していかないと、どんどん沈むばかりで、もう年寄りばかりで若い者は出ていき、駄目だということになる。</p> <p>そういうことで我々民間も一生懸命やっている。観光協会を担当させてもらっているが、いろんな仕掛けをし、ボランティアガイドの皆さんも本気でやってくれている。そういったことからどんどん力も湧いてくると思うし、やはり将来を見据えて我々はやるだけ。</p> <p>市当局の方も、先ほど申し上げたが「民間が、民間が……」と、やる気がない、やろうとしない、あるいは知恵も出さない、汗もかかない、こういうようなやり方をしてもらったのでは、我々各種団体が本気でやっても進まないと思う。ここに市長・副市長が居らっしゃれば良いのだけでも、そういう方向でいかにして客数を増やすか、どうやって持続可能な方向へ持っていくかということ、もう少し前向きにやってもらいたいと思うので、会長にもそういう意見が出たということ、これを是非伝えてもらいたい。我々も頑張るので、市もその気になって、我が事としてやらなければ駄目だと感じている。</p>
<p>議 長</p>	<p>いずれにしても行政と民間がスクラムを組んで、そして地域の活性化を目指していくという動きを、これまで以上に積極的に取り組む必要があるだろうという意見であった。他に意見はあるか。</p> <p>今のところでは、民は一生懸命頑張っているのだが、官の努力がもう少し足りないのではないかという意見であった。</p>
<p>委 員</p>	<p>フェリーの車両台数が能美と三高だけを比べているが、そうではなくて切串、そして呉ポートピア、その車両の状況を見たらまた変わってくると思う。</p> <p>今日の経済状況で車両数が減ってくるのは分かる。そのようないろんなことを考えて。宇品から能美に行きたいのだけれど、早く出るのはどちらかと言うと、三高より切串というケースもある。いろんな方法を利用者は選択するので、切串の状況も考えてみたら良いと思う。</p>
<p>議 長</p>	<p>方法はいくらかでもあるという指摘である。三高～宇品だけが航路では無いので、いろんな可能性があるところを検討していくことが大切だと思う。</p> <p>この海上交通の協議方針・方向性の中で、今言われた航路の見直し、更に言えば社会実験が行われた事柄に対する取りまとめや分析をしていくという、そういったことをも踏まえて、この方針で議論を更に進めていこうということである。</p> <p>もう少し力を入れて、三高～宇品航路以外でも積極的に航路利用を活性化するような形で展開する必要があるだろうということで、資料 1-2 に示している今後の海上交通の協議方針について、皆さんの意見を踏まえた形でこの方針で進めていくということで良いか。</p>

委 員	これは当然、議事録は取っておりますよね。
議 長	当然、議事録は取っている。 それでは承認いただいたということで、更に皆さんの意見を取りまとめていきたい。
(2) 陸上交通に関すること	
事 務 局	－資料 2-1, 2-2, 2-3, 3, 4 により説明－
委 員	3 ヶ月の実験ということだが、その結果によってはマイクロバスを中止し、おれんじ号に切り替えるという方針なのか。
事 務 局	3 ヶ月の状況により、マイクロバス車両が必要なかどうかを検討する。実際に利用されている方も、無料だからといって利用される方もいるだろうから、その辺りも十分浸透させたいので、これが 3 ヶ月後に有料になっても利用するかどうかというのは聞いていきたい。その実態を把握してからと考えている。
議 長	ただちに変更するというのではなく、状況により判断することである。他に何かないか。 利用状況を踏まえながら検討したいということ、利用者の満足度などをアンケートなどで調査したうえで判断していきたいということである。
	(意見等なし)
議 長	それでは、陸上交通に関して、おれんじ号、陸上代替交通手段の確保、路線バスダイヤの変更等について、この協議会では承認を得たということで取りまとめた。
(3) 平成 23 年度歳入歳出予算の決算見込みについて	
事 務 局	－資料 5 により説明－
議 長	平成 23 年度は全て終わっていないので、あくまで見込みということである。これについて質問・意見はないか。
委 員	私は年度途中からの参加なのでわからないのだが、事業が予算どおり行われていないものがあつたのかどうか。不用額が 289 万出ているので、事業を行っていないものがあつたのかどうか伺いたい。
事 務 局	やっていない事業はない。全てやっている。
議 長	他に質問、意見はないか。 決算見込みについては承認いただいたということとする。
5 その他	
議 長	その他、これだけは言っておきたいということはないか。
委 員	特に西能美航路について、4 月からダイヤ改正する予定はあるのか。

事務局	<p>現在調整中のところで、芸備商船の後を継ぐ新会社での調整だが、宇品～三高航路に関して、基本的に現在の状況を受け継ぐ。便数も運賃もダイヤもということだが、船が変わるので、それによって多少の変更はあるかもしれないと聞いている。若干の変更というレベルではないかという気がしている。</p>
議長	<p>その場合、おれんじ号との微調整というか、その辺はきちんとやってもらえるのか。</p>
事務局	<p>これに関しては、できるだけ早く情報を仕入れたいと思っており、運行スタート前に分かれば、合わせるようには努力する。</p>
委員	<p>分科会メンバーのリストを示されているのか。示されていない気がするのだが。というのが、2月初めに市議会全員協議会があり、今のような文章が示された。2月3日海上分科会が開かれたというのが出てきて、三高航路の船が鉄道・運輸機構に引き取られるということは、芸備商船もお手上げだということで、皆さんもあまり発言がなかった。私はその際は、この海上分科会では今日いろいろ発言されている方々もメンバーにいて、了承したうえではないかということで、今日の発言になった。</p> <p>メンバーを教えてもらわないと、海上分科会で承諾されたから全員協議会でも承認してくれと、そういうつもりではなかったのだろうが、何となくそういう形で議員もあまり発言がなかった。先ほどから言われるように、この船に関しては損益ではなくて福祉的な予算で物を見なさいという議員もいたが、要するに積極的な発言がなかった。</p> <p>今日皆さんの意見を聞くと、事務局が言われるパターンが正しく流れていくのかどうか私もよく分からなくなった。あと時間は1ヶ月しかない。議会の方も、福祉でやりなさい、船も公営でやりなさいという方もいて、公営でやれと言っても今の市企業局が引き継いでフェリーをやるのかという問題も出てくるので、そこらのことをはっきりしないといけない。議会の方も、3月議会でこのことが出るか出ないかはわからないが、議会で承認したら皆さんの意見はどうなったのかということも出てくるので、何となくこの1ヶ月間の処理が難しくなっている印象を私は受けるが、議長はいかがだろうか。</p>
議長	<p>全くそのとおり。できるだけ皆さんの意見が実現可能なように、事務局の方で取り計らってもらいたいというのは、切なる願いである。</p> <p>先ほど言ったように、全体の協議方針というのは分かったのだが、問題はそれを、皆さんが意見を出してくれたので、その意見をきちんときちんと考慮してやってもらうのが一番良いと思っている。そういう意味では、この協議会で議論されたことはとても大切なことだと思っている。これが住民の方にも周知されるように願っているが、事務局の方ではどうか。</p>

事務局	<p>まだ調整中という表現で決定事項ではないという言い方をしているが、当面は芸備商船が運航していた三高航路に関しては、市ですぐに代わりを走らせるのは不可能なので、たちまちの対応としては空白期間を作らないという方向で進めるということで、皆さんの理解をいただければと思う。</p>
委員	<p>それは誰がやるのか。芸備商船がやるのか。</p>
事務局	<p>当面の市の方針にあるように、瀬戸内海汽船が作る新会社に運航をお願いしたいという方向で調整を図っている。</p>
委員	<p>そうなると、事務局と仁田会長との調整で、皆さんの話の結果による調整とズレが生じる気がするのだが、どうだろうか。</p>
事務局	<p>皆さんの意見は受け止めたいが、出されたものに関しては主に西能美全体の再編、これに対する意見だったかなという気がしている。 三高航路を誰がやるのかについての反対意見ではなかったと知っているので、将来的なことは引き続き議論させてもらいたい。</p>
委員	<p>市としては瀬戸内海汽船が作る新しい会社に大きな借りができる。あの時救ってもらったということで。今後同じような形で「こうなりました」と話が進むのであれば、この協議会も不要だと思うし、もう少し真剣にやってもらわないといけないような気がする。 瀬戸内海汽船も赤字覚悟で引き受けてくれるとなれば、こちらもお願いはかりではいけないということになる。そこら辺の話が、あの時ああったからこうしてとか、船をさし上げてとかいうような話が、海上分科会でどんどん進むのであれば、市民は怒る。我々もその辺は不可解である。</p>
議長	<p>瀬戸内海汽船に丸投げするような形は、必ず問題が起きるのではないかと懸念であったが、その辺について事務局はいかがか。</p>
事務局	<p>あくまでも民間の航路であり、そこを引き継いでもらえる会社があるかどうかを打診した流れでこうなっている。将来形に関しては、提案されたことを協議の場に乗せるということでスタートしており、市が三高航路を所有しているものではないので、民間から民間へというところでの支援に関して、貸してもらえないかという提案がある中の調整をしているという状況である。</p>
委員	<p>この話は、うちにやらせてくれと飛びつく話ではない。誰かがやってくれないと、結果的には三高から広島へ向かう手段というのは、企業船を着けるということになると思う。誰かにやっていただきたいという話だろうと思う。 あと、皆さんいろいろ意見を言われているように、手続き論とか、そっちの方の問題がちょっとおかしいだろうというところもあると思うので、ここはやはり整理して、こういう状況でこうだというのはは</p>

	<p>つきり出されて、あと見えないところは、芸備商船から瀬戸内海汽船へ会社が変わるだけなので、ちゃんと時間も運賃も一緒ですよというのをはつきり出して。</p> <p>最終的に困るのは、ごたごたして瀬戸内海汽船が、あまり揉めるのならまあいいですよ、やってもいい話ではないと言われたら、じゃあ誰がするかという話になるので、話の進め方についてはやはり皆さんに周知する形をはつきりしていけば良いと思う。困るのは誰が困るのかという話になるので。そういうまとめ方をしたら良いと思う。</p>
議長	<p>利用されている方が一番困る。地域住民が一番困る。</p>
委員	<p>瀬戸内海汽船もやりたくて仕方ないわけではないが、頼まれたら仕方ないところだろうと思う。その辺りもどうするのが良いかというのをよく考えなければいけない。</p>
議長	<p>当協議会としては、利用者で最も多いのは地域住民の方であるので、そういう方々の利益を損なうことがないように、その辺の管理をきちんと行政でもらいたいという願いである。</p> <p>この件に関して、議論する余地があれば皆さんに集まってもらうことになると思う。当面はこの協議会でこの方針でやっていくということで、芸備商船から瀬戸内海汽船にお願いし、できるだけ利用者の利益を損なわないようにやってもらうということで取りまとめたい。もう 1 ヶ月しかないので、うまく取りまとめられるよう願っている。</p>
委員	<p>私は広島県旅客船協会の会長の立場で出ている。広島県内の旅客船事業者は非常に経営が苦しい。特に船を維持できないという状況である。その中で、1 つの会社が船を維持できなくなって運航をやめざるを得ないという時に、他の会社で繋ぎましょうというふうになりつつあるのだが、いわゆる我々民間事業者のまとめりである旅客船協会の会員企業の名誉のために申し上げると、そんないい加減なことをするためにやっているのではない。先ほどの発言の中で私は涙が出るほど悲しかったのだが、このことで民間企業に対する不信感が募ったという発言があったが、本当に私は涙が出そうになった。そうではなく、皆さんの信頼を得るために「航路を繋ごう」と言っているということをご理解いただきたい。</p> <p>民間企業もこれで良くなるだろう、市の方の航路も収支が良くなるだろうとやった社会実験が目論見どおりいかず、両方が大きな赤字を更に抱えてしまったという状況の中で、何とか民間企業で繋ぎ、その間に将来の形を皆さん一緒に考えていただきたい。</p>
議長	<p>民間企業がより厳しい経営を強いられているということは、たぶんこの委員の皆さんもよく理解していると思うが、更に地域住民の方々の利便性・利用価値というものもあるので、今後また大変厳しい議論</p>

	<p>になろうかと思うが、よろしくお願ひしたいと思う。</p> <p>事務局も大変なご苦勞があつたとは思ふが、今後も引き続き、厳しいこの経営を何とか繋いでいくように努力してもらいたいと思う。</p> <p>それではこれで終わらせてもらふ。新年度、新しい委員でまた展開していくと思うが、是非地域住民の利益を損なわれないような形で議論していきたいと思う。</p>
6 閉 会	